



廃プラ対応焼却炉
新2機種を発売

DAITO

焼却炉メーカーのDAITO(株)(愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)はこのほど廃プラ対応焼却炉LSZモデルおよびLSIIモデルの2機種を新発売した。

LSZモデルII写真はIIは使いやすさと集じん性能をさらに高めた廃プラ対応ハイエンドモデル、LSIIモデルは燃焼性能と集じん力

をさらに引き上げた廃プラ対応ハイエンドモデル。

いずれも新開発のWカットサイクロンで消煙・集じん効率がアップし、また、新方式のホットエアで燃焼用空気を温めることにより、今まで以上の高い燃焼効率を実現している。

さらに、LSZモデルは大型投入口で大きな燃焼物を投入でき、LSIIモデルは強力な旋回燃焼により、これ

まで以上に焼却力がアップした。

両機種とも行政への届出不要(条例により一部届出が必要な自治体もあり)で、法規制による焼却炉の構造基準に適合しており、万一行政から指導があれば同社が責任を負う「構造基準適合保証」を付加している。

仕様はLSZモデルが紙くず、木くずの場合

合の焼却能力29kg/h、廃プラは12kg/h、火床面積が0・40平方メートル、一次燃焼室容積が470リットルで標準価格は338万円。

LSIIモデルは焼却能力が紙くず、木くずの場合29kg/h、廃プラは12kg/h、火床面積が0・40平方メートル、一次燃焼室容積が470リットルで標準価格は328万円。

価格は消費税、運賃取付費など別途。初年度はいずれも20台の販売目標を立てている。

問い合わせは0120・21・3136へ。